

## 特集「ユビキタス ITS とモバイルアプリケーション」の 編集にあたって

東 野 輝 夫†

第3世代移動通信システムや無線 LAN の発展により、家庭やオフィスに限らずさまざまな場所から容易にネットワークにアクセスできるようになってきた。同時に、携帯端末の高機能化・高性能化・小型化やセンサネットワーク技術・IC タグ技術などの進展により、ユビキタスコンピューティングが身近なものになるうとしている。これらのユビキタスコンピューティングやモバイル通信技術の ITS ( Intelligent Transport Systems ) 分野への応用や、これまで ITS 分野で検討・開発されてきた通信・位置検出技術をより一般的な用途へ応用しようとする試みがさまざまな分野でなされ、いまやユビキタス ITS という新たな研究分野が確立されようとしている。これらの技術や概念の融合により、今後、より多彩な ITS 情報通信サービスやモバイルアプリケーションが創出されてくるものと考えられる。

このような背景から、本学会の高度交通システム研究会 ( ITS ) とモバイルコンピューティングとユビキタス通信研究会 ( MBL ) が連携して、「ユビキタス ITS とモバイルアプリケーション」に関連する研究の促進を目的として、昨年度に引き続いて両研究会で本特集号を企画することとした。

本特集号には 34 編の投稿があり、16 編が採択され、採択率は約 47% であった。採録された 16 編の論文をテーマごとにまとめると、位置検出技術 3 編、アドホックネットワーク 5 編、モバイルアプリケーション 3 編、位置情報サービス 5 編、となり、位置検出技術

からアドホックネットワーク、アプリケーション、位置情報サービスと多岐にわたり、本特集の主題であるユビキタス ITS、モバイルアプリケーション分野の研究の広がりをよく示していると思われる。本特集が今後のこの分野の発展に寄与することを期待したい。

最後に、本特集号にご協力いただいた編集委員、査読者、学会担当者に感謝致します。

### 「ユビキタス ITS とモバイルアプリケーション」特集 編集委員会

- 編集長 ( ゲストエディタ )  
東野 輝夫 ( 大阪大学 )
- 編集委員 ( 五十音順 )  
梅津 高朗 ( 大阪大学 )  
太田 賢 ( NTT ドコモ )  
小花 貞夫 ( ATR )  
河口 信夫 ( 名古屋大学 )  
久保田浩司 ( NTT-AT )  
重野 寛 ( 慶應義塾大学 )  
高汐 一紀 ( 慶應義塾大学 )  
高橋 修 ( はこだて未来大学 )  
寺岡 文男 ( 慶應義塾大学 )  
水野 忠則 ( 静岡大学 )  
屋代 智之 ( 千葉工業大学 )  
横田 英俊 ( KDDI 研究所 )

† 大阪大学大学院情報科学研究科